

令和 8 年度第 1 回大野市総合計画・総合戦略推進会議

次第

日時：令和 8 年 6 月 2 6 日（金）午後 2 時～

場所：大野市図書館 2 階 視聴覚室

1 開会

市長あいさつ

2 会長、副会長の選任

3 議事

（１）推進会議の趣旨及びスケジュールについて

（２）令和 7 年度施策の外部評価の方法について

…資料 1

（３）令和 7 年度施策の内部評価結果の報告について

…資料 2， 3

（４）専門部会（ウェルビーイング部会）の設置について

…資料 4， 5

大野市総合計画・総合戦略推進会議
委員名簿

令和8年度

No.	選出団体等	役職	氏名	備考
1	放送大学福井学習センター	所長	岡崎 英一	
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	
3	大野市議会	議員	猪嶋 清文	
4	大野市立保育園保護者連合会	書記	熊川 善之	
5	大野市PTA連合会	会長	上田 智亮	
6	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	
7	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	
8	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	事務局次長	櫻川 みゆき	
9	大野市スポーツ協会	副会長	向村 英博	
10	福井県農業協同組合	奥越統括支店長	石田 浩二	
11	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	
12	大野商工会議所	総務企画運営課長	嶋田 優子	
13	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	
14	連合福井福井地域協議会大野地区連絡会	代表委員	清水 博文	
15	一般社団法人福井県中小企業診断士協会	理事	松田 博史	
16	福井県社会保険労務士会		伊藤 淑子	
17	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	
18	大野市消防団	副分団長	前川 美穂	
19	大野市文化協会	会長	羽根田 繁紀	
20	大野市区長連合会	副会長	齋藤 雅彦	
21	越前信用金庫	本店営業部長	三屋 祐治	
22	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	
23	大野記者クラブ	幹事社	澤田 美紀	

事務局

No	所属等	役職	氏名	備考
1	大野市行政経営部	部長	加藤 嘉一	
2	大野市行政経営部政策推進課	課長	小林 勝信	
3	大野市行政経営部政策推進課	課長補佐	廣作 力	
4	大野市行政経営部政策推進課	企画主査	雨山 直人	

大野市総合計画に基づく施策の評価について

1 評価の目的

- ・ 施策の実施状況及び効果の検証を行い、大野市総合計画の着実な推進を図ります。
- ・ 検証結果に応じて実施手法を見直すなど、効率的・効果的な行財政運営を図ります。
- ・ 市民目線の意見を取り入れ、市民ニーズに合った施策展開を図ります。
- ・ 令和7年度の施策評価は、前期基本計画の評価の総括を兼ねます。

2 評価の実施主体

大野市が主体となり、外部委員の意見を取り入れながら実施します。

【外部委員】

- ① 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員 23名
- ② 施策評価アドバイザー 1名（福井県立大学 経済学部 桑原 美香 教授）

3 評価の対象

第六次大野市総合計画前期基本計画に掲げる24の項目ごとに、68の施策を評価します。（裏面参照）

4 評価の流れ

（1）内部評価（施策評価）

- ・ 市役所内部において、前年度の施策の実施状況及び効果を検証します。
- ・ 「施策評価シート」（全24シート）を用いて行います。

（2）外部評価

- ・ 内部評価を踏まえて、外部委員が指定の施策評価シートについて意見を出し、評価付け（A B C Dの4段階）を行います。

（3）総合評価

- ・ 内部と外部の評価に相違があった場合、推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考にして、市が総合評価を決定します。

5 日程

- 6月26日（金）：第1回推進会議（内部評価結果の説明）
- ～7月10日（金）：外部委員の外部評価作業
- ～7月下旬：総合評価の決定（推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考）
- 8月6日（木）予定：第2回推進会議（総合評価結果の報告）
- 以降～：総合評価結果を踏まえた施策の改善や立案（翌年度に向けて）

6 その他

当評価は、第2期大野市総合戦略及び関係計画に基づく施策の検証を兼ねます。

将来像	基本目標	項目	目指す姿	施策	
人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち	こども 未来を拓く 大野っ子が 健やかに育つまち	1 子育て	安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち	1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します 1-2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します 1-3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します	
		2 学び	子どもたちの誰かが学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち	2-1 優しく賢くたくましい大野人を育てます 2-2 児童生徒の学習環境を整えます 2-3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます	
	健康福祉 健康で自分らしく 暮らせるまち	3 健康・医療	市民が、自ら健康づくりに取り組み、地域医療体制や感染症対策が整った環境で、健やかで幸せに暮らすまち	3-1 赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりを支援します 3-2 地域医療体制の充実を図ります 3-3 感染症などの予防や対策に取り組む体制を整えます	
		4 地域福祉	市民が、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすまち	4-1 地域共生社会の実現に向けて取り組みます 4-2 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します 4-3 障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します	
		5 スポーツ	市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち	5-1 スポーツを楽しむ取り組みを推進します 5-2 競技力の向上を支援します 5-3 子どものスポーツ活動の充実に取り組みます	
	地域経済 歴史・風土と 新たな強みを 生かした 活力あるまち	6 農業	次世代技術を生かした農業の普及が進み、多様な担い手によって、活力ある農山村が引き継がれているまち	6-1 魅力ある農業経営を実現します 6-2 特色ある経営者の自産自銷水産物の生産や販売を促進します 6-3 多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します 6-4 農地の適切な整理と有効利用を図ります	
		7 林業	豊かな森林資源を活用した林業により、資源の循環と森林の多面的機能が発揮されたまち	7-1 林産物の生産能力の向上を支援します 7-2 山林を適切に管理します 7-3 林業従事者の確保と育成に取り組みます	
		8 商工業	人の交流や物流が拡大し、多くの店舗や企業が活気に満ちたまち	8-1 事業者の経営課題に対し総合的に支援します 8-2 まちなかのにぎわいを創出します	
		9 観光業	県内外や国外から多くの観光客が訪れ、にぎわい、経済活力にあふれるまち	9-1 魅力ある地域資源を磨き上げ、観光資源として活用します 9-2 観光客の来訪を増やし満足度を高める取り組みを推進します 9-3 観光営業活動の強化と情報発信を充実します	
		10 働く環境	新たな魅力ある企業の立地や市内企業の働きやすい環境整備により、若者や子育て世代をはじめ、市民が生き生きと働くまち	10-1 企業の魅力や生産性、労働環境の向上と、多様な人材の就労を支援します 10-2 企業誘致を進めるとともに新たな産業を育成します	
	くらし環境 豊かな自然の中で 快適に暮らせる まち	11 自然環境・こみ	市民が誇る豊かで美しい自然環境が維持され、循環型社会が形成されたまち	11-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます 11-2 環境の美化と環境教育を推進します 11-3 こみの減量化と資源化を推進します	
		12 水環境	恵まれた水環境や地域固有の水文化が継承され、人と水との豊かなかわりか実現されたまち	12-1 流域マネジメントを推進します 12-2 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承を推進します 12-3 気象変動や地下水障害への対応に取り組みます 12-4 河川や地下水の水質保全に取り組みます	
		13 生活環境	大野らしい景観が守られ、快適に暮らすことができる生活環境が整ったまち	13-1 景観に配慮したまちをつくらします 13-2 安全で快適な住宅環境を整備します 13-3 上下水道基盤を整備し適切な維持管理を行います	
		14 消防・減災	災害に強い強靱なまちづくりが進み、緊急時の情報伝達や消防・救急の体制が充実したまち	14-1 災害に備えた体制を整備します 14-2 消防・救急体制を強化します	
		15 道路	生活や産業の基盤となる安全な道路と広域ネットワークが整備され、通勤圏や市場が拡大し、交通人口の増加によりにぎわうまち	15-1 幹線道路などの整備を促進します 15-2 雪や災害に強い生活道路を整備、維持します 15-3 健康づくりや低炭素社会の実現などに向けて取り組みます	
		16 公共交通	誰もが利用しやすい公共交通網が整備されたまち	16-1 公共交通の維持とまちづくりへの活用を推進します 16-2 北陸新幹線横浜・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通、人口減少社会を見据え、地域交通のあり方を検討します	
	地域づくり みんなでつながり 地域が生き生きと 輝くまち	17 ひと・地域	市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち	17-1 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します 17-2 地域での交流を深め、支え合いを広げます 17-3 地域住民が利用しやすい活動拠点をにつくらします	
		18 防災力・防犯力	地域の防災力・防犯力が高まり、災害や事故に備えた体制が整ったまち	18-1 地域における防災力の充実と強化を図ります 18-2 犯罪や事故を防止します 18-3 空き家などの対策を推進します	
		19 文化芸術	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	19-1 文化芸術の振興と継承を推進します 19-2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します 19-3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します	
		20 移住定住	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	20-1 住まいや仕事の確保を支援します 20-2 地域での受け入れ環境を整えます 20-3 大野の魅力を伝えます	
	行政経営 結のまちを 持続的に支える 自治体経営	21 情報共有	市内外に大野の魅力が発信され、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているまち	21-1 情報発信や情報提供の充実を図ります 21-2 施策などの情報を市民と共有し、市民の意見を市政へ反映します	
		22 協働・連携	自治会や団体、学校、企業、行政など、さまざまな活動主体が、お互いの立場と役割を理解し、協働・連携してまちづくりに取り組むまち	22-1 市民協働のまちづくりを進めます 22-2 他の自治体などとの協働や連携によるまちづくりを進めます	
		23 市民サービス	デジタル化が進む中、誰もが利用しやすい市民サービスが提供されているまち	23-1 申請などの手続きのオンライン化を推進します 23-2 分かりやすく丁寧な市民サービスを提供します	
		24 行財政	計画的で効率的な財政運営と、市民の期待に応えられる人材と組織により、安定した自治体経営が堅持されているまち	24-1 持続可能な財政運営を行います 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」に取り組みます 24-3 人材育成と組織の整備を進めます 24-4 市有財産を適正に管理し、効果的に効率的な活用を図ります	

施策展開

SDGsの推進
 分野を超えた連携
 ニューノーマルへの適応とデジタル化の推進

外部評価作業要領

1 役割分担

- ・ 担当する施策評価シートに対して「評価」と「意見」をお願いします。
- ・ 外部評価は、個人ごとに行っていただきます(グループではありません)。

(1) 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員(敬称略)

分野	所属	氏名	担当する施策評価シート
全て	放送大学福井学習センター	岡崎 英一	全般
こども	大野市立保育園保護者連合会	熊川 善之	1 子育て 2 学び
	大野市PTA連合会	上田 智亮	
	みらい子育てネット大野	川田 香菜子	
健幸 福祉	大野市老人クラブ連合会	林 幹雄	3 健康・医療 4 地域福祉 5 スポーツ
	(社福)大野市社会福祉協議会	櫻川 みゆき	
	大野市スポーツ協会	向村 英博	
地域 経済	福井県農業協同組合	石田 浩二	6 農業 7 林業 8 商工業 9 観光業 10 働く環境
	九頭竜森林組合	保格 浩一	
	大野商工会議所	嶋田 優子	
	(一財)越前おおの観光ビューロー	藤堂 規行	
	連合福井福井地域協議会大野地区連絡会	清水 博文	
	(一社)福井県中小企業診断士協会	松田 博史	
	福井県社会保険労務士会	伊藤 淑子	
くらし 環境	福井工業大学	竹田 周平	11 自然環境・ごみ 12 水環境 13 生活環境 14 消防・減災 15 道路 16 公共交通
	(一社)大野建設業会	山川 正秀	
	大野市消防団	前川 美穂	
地域 づくり	大野市文化協会	羽根田 繁紀	17 ひと・地域 18 防災力・防犯力 19 文化芸術 20 移住定住
	大野市区長連合会	齋藤 雅彦	
	奥越前まんまるサイト	坂本 道子	
行政 経営	大野市議会	猪嶋 清文	21 情報共有 22 協働・連携 23 市民サービス 24 行財政
	越前信用金庫	三屋 祐治	
	大野記者クラブ	澤田 美紀	

(2) 施策評価アドバイザー

分野	所属	氏名	担当する施策評価シート
全て	福井県立大学	桑原 美香	全般

2 評価様式 別紙「外部評価シート」又は、同WEBフォームによる

3 外部評価シートの記載要領

(1) 評価

- ・ 担当する施策評価シートについて、以下 ABCD の4段階で評価をお願いします。

【評価基準】

- A【順 調】…成果指標を達成し、取組の成果も上がっている。
- B【概ね順調】…成果指標は概ね達成され、取組の成果も上がっていると認められるが、課題や問題点も見受けられる。
- C【要改善】…成果指標の達成は十分といえず、取組の成果を上げるために改善の余地を残している。
- D【見直し】…成果目標の達成には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要である。

- ・ 担当しない施策評価シートに対する評価は不要です。

(2) 意見

- ・ 担当する施策評価シートに各1つ以上の「意見」を記載願います。
- ・ 担当しない施策評価シートに対する意見は任意です。
- ・ 「である調」や「箇条書き」などで簡潔に記載願います。
- ・ 個人的な苦情や要望ではなく、施策に対する全体的な意見をお願いします。
- ・ 意見の過多や重複がある場合は、取りまとめの段階で記載を省略する場合があります。また、文章の表現を修正する場合があります。

(3) その他

- ・ 市役所の内部評価の基準は、別紙をご参照ください。
- ・ 市の記載内容についてご不明な点やご質問がある場合は、電話やメール(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)などにて政策推進課までご連絡をお願いします。

過去の評価結果はこちら



4 提出方法

(1) 郵送(返信用封筒による) 又は持参

(2) 電子メール データ様式が必要な場合、(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)にご連絡ください

(3) WEBフォーム 下記QRコード又はURL(<https://forms.gle/av6Zd7nKvCF5Kyjq8>)

5 提出期日 7月10日(金)

【問い合わせ先・提出先(市役所2階22番窓口)】

大野市行政経営部政策推進課 廣作、雨山
〒912-8666 大野市天神町 1-1
電話 0779-66-1111(内線 2512) FAX 0779-65-8371
E-mail seisaku@city.fukui-ono.lg.jp

WEBフォームはこちら



施策評価シート

別紙

No. 20

評価課	地域文化課
関係課	防災防犯課、交通住宅まちづくり課、産業政策課、生涯学習・文化財保護課、政策推進課
基本目標	地域づくり みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち
項目	移住定住
目指す姿	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち
関連するSDGs	

①施策の取組状況及び成果

「戦略」欄の※は第2期大野市総合戦略に関連する取組みや成果指標

No.	施策	細区分	取組状況及び成果	戦略	達成度
20-1	住まいや仕事の確保を支援します	①	●関係部局の職員と移住相談の情報を共有しながら、昨年度を上回る年間192件の相談に応じた。 ●移住関心層に本市の移住情報を届け、本市の認知度向上を図ることを目的に、WEB広告を活用した結果、期間中の移住ウェブサイトの閲覧数は2.2倍、資料請求数が3.1倍となった。 ●令和7年度に市の支援を受けて移住した人は75人(44世帯)で、過去最高となった前年度の61人(38世帯)を上回った。	※	◎
20-2	地域で活躍する個人・団体と連携した移住者交流会として、シューズブランドと連携した雪板作りイベント(8月)、「えちぜん海岸盛り上げ隊」との交流イベントを開催し、14人が参加した。	②	●空き家情報バンクに20件新規登録し、令和6年度以前の登録物件も含めて8件が成約につながった。 ●空き家バンクを促進するために行う、空き家の家財道具処分への支援に9件の利用があった。	※	○
20-3	大野の魅力を伝え、移住定住を促進します	③	●大都市圏で大野市の魅力や移住定住施策を発信するため、県が主催する移住フェアや、ふくい嶺北連携中枢都市圏の構成市町が共同で出展する移住フェアに参加し、移住相談に対応するとともに、子育て世代に対しては、大野ですくすく子育て応援パッケージを活用し本市の子育て施策をPRした(東京3回、大阪2回)。	※	○
その他	その他	その他	●大野市に移住し、市内外の企業へ就業した人や起業した人への支援として、「U・Iターン移住就職等支援金【全国型】」で16世帯、「U・Iターン移住就職等支援金【東京圏型】」で2世帯に補助した。		○

【取組状況及び成果】

- ・施策に関連する令和7年度の取組を記載しています。
- ・この場合、施策20-1「住まいや仕事の確保を支援します」のうち、細区分①「Uターンを希望する人に対し、きめ細かな相談体制を確立します」に関する取組となります。

※「細区分」は番号のみを記載しており、内容はこのシートからは確認できませんので、大野市総合計画の冊子からご確認ください。

【施策の達成度】

施策の達成度を以下の基準で評価しています。
(この場合、20-2の施策の達成度を記載しています。)

(評価基準)

◎…計画した以上に進捗したもの、期待した以上の効果を得ることができたもの

○…概ね計画どおり進捗したもの、期待した効果を概ね得ることができたもの

●…計画どおり進捗したもの、期待した効果を概ね得ることができたもの

②成果指標

No.	指標	内容	単位	令和元年度 現状	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和7年度 目標	戦略
1	定住のための住宅取得等	定住のための住宅取得及びリフォーム	件	—	50 (累計)	61 (累計)	77 (累計)	50 (累計)	
2	移住者の定住率	移住者の定住率	%	29.5	28.1	27.6	27.2	29.5	※
3	移住相談件数	移住相談件数	件	—	428 (累計)	508 (累計)	777 (累計)	500 (累計)	※

【成果指標の検証】
成果指標の実績について、達成状況の検証内容(要因分析など)を記載しています。

【成果指標】
令和7年度末時点の成果指標の実績を記載しています。

(成果指標の検証)

1	目標50件に対し実績77件(累計)で目標を達成した。IJUサポートチームやリフォーム事業者等への制度周知が進んだことにより、令和5年度から令和7年度にかけて、移住者の定住率が増加している。
2	目標29.5%に対し実績27.2%で未達となった。5年間を通じて一貫して低下傾向で推移した。少子化の進行と若者の転出超過が継続し、総人口に比べて20～40代人口の減少が進んだことが主な要因と考える。
3	目標500件に対し実績777件(累計)で目標を達成した。関係各課で移住相談の情報を共有し、移住相談者に対するきめ細かなサポートを実施し、令和7年度は777件となった。

【前期基本計画における主な取組と実績】
「①施策の取組状況及び成果」は令和7年度の施策ですが、ここでは前期5年間の主な取組と

た内部評価

A

③前期基本計画(R3～7)における主な取組と実績

取組1	・移住に関心層に本市の移住情報を届け、本市の認知度向上を図ることを目的に、WEB広告を活用し、関係部局の職員が移住相談の情報を共有しながら、相談に応じたことで、移住者の実績は増加している。
取組2	・転入者、子育て世帯、多世代同居世帯等を対象に、中古住宅(空き家)の取得及びリフォームに係る経費を助成し、移住者が増えている。IJUサポートチームをはじめ、中古住宅販売事業者やリフォーム事業者等への制度周知の推進に寄与している。
取組3	・移住者の交流支援や地区独自の空き家マッチングツアーが開催され、移住者を受け入れる環境が整っている。地域おこし協力隊に対し、任期終了後の定着に向けた支援を行い、令和7年度末時点では、令和6年度末時点に比べて増加している。
取組4	・都市圏で開催される「移住者交流フェスティバル」を活用し本市の魅力をPRし、移住者の増加を図っている。
取組5	・「移住者交流フェスティバル」に市のホームページでも取り上げ、移住者の増加を図っている。

【内部評価】
「①取組状況及び成果」及び「②成果指標」を踏まえた最終の内部評価を記載しています。

(評価基準)

A【順調】

成果指標を達成し、取組の成果も上がっている。

B【概ね順調】

成果指標は概ね達成され、取組の成果も上がっていると認められるが、

C【要改善】

成果指標の達成は十分といえず、取組の成果を上げるために改善の余地を残している。

D【見直し】

成果目標の達成には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要と判断される。



◆ おおのぐらし交流会



◆ 和泉地区空き家マッチングツアー

内部評価結果及び成果指標の一覧（令和7年度施策）

資料3

基本 目標	項目	R7施策 内部評価	R6施策 内部評価 (参考)	成果指標	内容	目標値及び実績値				
						令和元年度 現状	【参考】 令和6年度 実績値	令和7年度 実績値	令和7年度 目標値	単位
こども	1 子育て	B	B	出生率	人口1,000人に対する出生数の割合	4.9	3.9	3.8	5.2	%
				地域の子育て支援拠点となる施設の延べ利用者数	地域子育て支援センター、ちっこ・たっこ、園開放の延べ利用者数	25,835	11,877	12,209	22,820	人
	2 学び	B	B	「学校が楽しい」と回答する児童生徒の割合	児童生徒アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童生徒の割合	小94.0 中89.0	小91.1 中94.0	小92.4 中93.0	小95.5 中91.5	%
健康福祉				子どもの生涯学習事業参加回数	18歳以下の子ども一人当たりの年間生涯学習事業参加回数（生涯学習センター、公民館、図書館主催）	1.41	1.08	1.86	1.45	回
	3 健康・医療	B	B	特定健康診査対象者に対する受診者の割合	国民健康保険加入者で40～74歳の特定健康診査受診率	44.1	40.4（見込）	41.5（見込）	60.0	%
				特定保健指導対象者に対する指導修了者の割合	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人に対する保健指導実施率	29.8	29.8（見込）	21.9（見込）	60.0	%
	4 地域福祉	B	B	ボランティア登録者数	ボランティアの登録者数	1,293	1,099	1,154	1,350	人
				通いの場の設置数	65歳以上の高齢者が月1回以上活動実績がある通いの場の設置数	83	85	83	90	箇所
				要介護認定率	大野市における要介護認定率	18.7	19.3	19.4	19.4以下	%
				障害者相談支援センターの相談件数	福祉サービスの利用支援などの年間相談件数	3,001	2,152	1,062	3,200	件
スポーツ	5 スポーツ	B	B	スポーツ指導者公認資格の新規取得者数【累計】	スポーツ指導者公認資格の新規取得者数【累計】	0	33	38	40	人
				市民1人当たりの体育施設利用回数	市民1人当たりの体育施設（スポーツ振興担当所管）の利用回数	7.66	8.25	9.18	9.00	回
地域経済	6 農業	B	A	担い手の集積率	担い手が耕作している農地面積の割合	67.9	80.5	81.6	80.0	%
				耕作放棄地の面積	毎年増加傾向にある耕作放棄地の発生抑制	3.0	2.5	4.3	3.6以下	ha
				道の駅年間来場者数	道の駅「越前おおの 荒島の郷」への年間来場者数	0	66.6	64.6	80	万人
	7 林業	B	B	林業作業士数【累計】	林業作業士として農林水産大臣が登録した者	30	36	36	35	人
				森林間伐面積	市有林、私有林の間伐面積	118	84	80	130	ha
	8 商工業	B	C	創業者数【累計】	市の支援策による創業者数【累計】	0	3	5	10	件
				まちなかの観光入込客数	大野市を訪れる観光客の総数のうち、まちなかへの年間入込客数	82.9	58.0	56.2	125.0	万人
	9 観光業	B	C	観光消費額	日帰り観光客1人当たりの消費額	2,945	3,796	4,049	5,000	円
				宿泊者数	延べ宿泊者数（暦年）	86,100	84,970	82,300	130,000	人
				観光入込客数	観光客の延べ人数（暦年）	199	214	195	330	万人
くらし環境				道の駅年間来場者数（再掲）	道の駅「越前おおの 荒島の郷」への年間来場者数	0	66.6	64.6	80	万人
	10 働く環境	A	B	国・県の働き方改革関係制度認定企業数【累計】	市の支援策による国・県の働き方改革関係制度認定企業数【累計】	0	16	19	10	社
				工場新設等に伴う雇用創出数【累計】	企業が大野市民を雇用した数【累計】	0	45	50	50	人
	11 自然環境・ごみ	A	A	水質基準を達成した河川の数	県や市が実施する11河川の水質検査結果において、環境基本計画で設定した水質基準を満たした河川数	11	11	11	11	河川
				1人1日当たりのごみの排出量	市民1人1日当たりのごみ排出量	950	847	869	929以下	g
				ごみの資源化率	ペットボトルや空缶、紙類などの分別収集や集団回収により一般廃棄物を資源化した率	21.9	20.1	19.7	29.4	%
	12 水環境	B	B	保全目標水位に対する超過日数（過去10年の平均）	基準観測井（春日公園）における保全目標水位5.5mを超過した日数の過去10年間の平均値	45	56	58	36以下	日
				地下水質の水道法に定める飲料水水質適合基準との適合率	水質調査した井戸のうち、水道法に定める飲料水水質適合基準に適合した井戸の割合	97.5	100	100	100	%
				水洗化率	処理区域内の水洗化率	44.1	49.9	51.4	52.4	%
	13 生活環境	B	B	住宅の耐震化率	人が居住している住宅数に対する耐震性を有する住宅数の割合	71.9	75.9	76.5	79.0	%
まちづくり				上水道有収率	給水する水量と料金として収入のあった水量との比率	70.0	68.6	67.6	73.0	%
	14 消防・減災	A	B	消防水利の充足率	消防水利が足りているエリアの割合	58.4	59.9	70.9	65.0	%
				防災メール登録者数	防災メール登録者数	1,471	1,947	2,062	3,000	人
				普通救命講習の受講率	生産年齢人口に対する普通救命講習者の割合	37.0	43.6	45.0	40.0	%
	15 道路	B	B	補修橋梁数【累計】	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施する橋梁補修数【累計】	0	35	36	41	橋
				消雪施設補修箇所数【累計】	消雪施設修繕計画に基づき実施する補修件数【累計】	0	5	6	6	箇所
	16 公共交通	B	B	大野市内バスの年間乗客数	市内公共交通（まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バス、京福バス大矢戸線）の年間乗客数	24,674	23,947	24,823	30,000	人
				広域路線バスの年間乗客数	広域路線バス（京福バス）の年間乗客数	205,329	137,524	89,700	225,000	人
				JR越美北線の年間乗客数	JR越美北線（全駅）の年間乗客数	336,307	294,721	278,205	346,800	人
	17 ひと・地域	B	B	公民館利用回数	市民一人当たりの年間公民館利用回数（他所で行った公民館事業参加者数を含む）	3.61	3.86	4.31	3.66	回
地域づくり				図書館利用回数	市民1人当たりの年間図書館利用回数	2.98	2.94	3.11	3.2	回
				検討会の開催【累計】	地域課題解決に向けた住民主体の検討会を開催した地区	0	6	6	9	地区
	18 防災力・防犯力	B	B	自主防災組織の活動	結成した自主防災組織の活動割合	20.0	45.0	40.1	100.0	%
				総合防災マップ説明会の開催	総合防災マップ説明会の開催地区割合	2.0	41.0	42.7	100.0	%
				刑法犯認知件数	市内の刑法犯年間件数	77	66	51	70以下	件
				存在する特定空家等の件数	存在する特定空家等の件数	16	11	10	0	件
	19 文化芸術	B	B	公演などの参加人数の割合	人口に対する市が主催および支援する文化公演の年間参加人数の割合	37.5	30.1	36.3	45.0	%
				博物館等における企画展や講座開催数	博物館等における企画展や講座開催数	3	9	11	5	回
	20 移住定住	A	A	定住のための住宅取得等助成件数【累計】	定住のための住宅取得及びリフォームに対する助成件数【累計】	0	61	77	50	件
				総人口に対する20～40代人口の割合	総人口に対する20～40代人口の割合	29.5	27.6	27.2	29.5	%
行政経				移住相談件数【累計】	I・Jサポートチームが受けた移住相談件数【累計】	0	585	777	500	件
	21 情報共有	B	C	市ホームページアクセス件数【累計】	市ホームページにアクセスした延べ件数【累計】	0	3,846,992	4,650,060	5,530,000	件
	22 協働・連携	C	C	検討会の開催【累計】（再掲）	地域課題解決に向けた住民主体の検討会を開催した地区	0	6	6	9	地区
	23 市民サービス	A	A	姉妹都市などとの交流事業参加者数【累計】	姉妹都市等交流事業補助金を活用して行った交流事業の参加者数【累計】	0	118	241	1,300	人
	24 行財政	A	A	電子申請が可能となった行政手続きの件数【累計】	電子申請が可能となった行政手続きの件数	33	180	181	63	件
				財政調整基金残高	年度末の残高	16.4	22.0	20.1	20.0	億円
				将来負担比率	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく比率	48.5	集計中	集計中	45.5	%

「令和7年度実績」「令和6年度実績」欄の「オレンジ色」は令和7年度目標を達成しているもの

専門部会「ウェルビーイング部会」

専門部会（案）

名 称	ウェルビーイング部会
概 要	後期基本計画の5年間は「ウェルビーイング部会」を常設する。ウェルビーイングをまちづくりのものさしとして組み入れ、市民の幸福度や暮らしの満足度を把握し、施策の方向性を検討する。毎年テーマを設けて踏み込んだ検討も行う。
R 8テーマ	「地域づくり」（市民協働による住民自治）
背 景 目 的	核家族化の進行、生活様式や価値観の多様化などにより、自治会や地区の行事、活動に参加する若い世代が減少している。 自治会や団体の中には担い手の減少や高齢化による活動力の低下や、複数団体の委員の兼務による担い手の負担の増加がみられ、行事や活動を整理し、若者や女性が参加しやすい環境づくりが求められており、後期基本計画では、市民協働による住民自治を促進していく。 ウェルビーイング指標を用いた市民意識調査では、本市は、「町内への愛着や町内の信頼関係」といった項目が、県全体に比べて高い結果となっている。 こうした良い面を維持しながら、これからも「住み続けたい結のまち」とするには、どのような視点を大切にして地域づくりを進めていくと良いかについて、市民意識調査における独自設問を設けるとともに、調査結果を分析し、施策等の方向性について検討を行う。
検討内容	① 市民意識調査の「地域づくり」に関する独自設問の検討（1回目の会議） ② 調査結果の分析及び施策等の方向性の検討（2回目の会議）
開催回数	2回（8月6日第2回推進会議と同日開催を予定,10月）
部員数	7～9名程度＋事務局
構成員	推進会議委員、アドバイザー（外部有識者）、関係課担当者 等

大野市総合計画・総合戦略推進会議
委員名簿

令和8年度

No.	選出団体等	役職	氏名	専門部会
1	放送大学福井学習センター	所長	岡崎 英一	
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	
3	大野市議会	議員	猪嶋 清文	
4	大野市立保育園保護者連合会	書記	熊川 善之	
5	大野市PTA連合会	会長	上田 智亮	
6	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	◎
7	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	◎
8	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	事務局次長	櫻川 みゆき	◎
9	大野市スポーツ協会	副会長	向村 英博	
10	福井県農業協同組合	奥越統括支店長	石田 浩二	
11	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	
12	大野商工会議所	総務企画運営課長	嶋田 優子	
13	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	
14	連合福井福井地域協議会大野地区連絡会	代表委員	清水 博文	
15	一般社団法人福井県中小企業診断士協会	理事	松田 博史	◎
16	福井県社会保険労務士会		伊藤 淑子	◎
17	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	
18	大野市消防団	副分団長	前川 美穂	
19	大野市文化協会	会長	羽根田 繁紀	
20	大野市区長連合会	副会長	齋藤 雅彦	◎
21	越前信用金庫	本店営業部長	三屋 祐治	
22	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	
23	大野記者クラブ	幹事社	澤田 美紀	

ウェルビーイングアドバイザー

	福井県立大学地域政策学部	准教授	高野 翔	◎
	福井県未来創造部未来戦略課	課長補佐	飛田 章宏	◎

関係課

	大野市地域づくり部地域文化課			◎
--	----------------	--	--	---

計9人

町内の寄合やイベントと幸福度・生活満足度の関係

— おおのウェルビーイングアンケート 2025 分析レポート —

未定稿

独自設問の設定及び検証のイメージ資料

このレポートでわかること

- ・ 令和7年9月に、国が示すウェルビーイング指標を用いた幸福度や生活満足度に関するアンケート調査を実施し、市民314名から回答が得られました。
- ・ この調査では、市の独自設問として「町内の寄合（世帯が集まる集会）の頻度」と「町内でのイベント（祭り・BBQ・防災訓練）の有無」を設けました。
- ・ 結果、町内での寄合の頻度やイベントの有無と、幸福度や生活満足度との直接の関係は見られませんでした。
- ・ 一方、幸福度や生活満足度は、国の指標に含まれる「同じ町内の人を信頼」「相談できる人が身近にいる」「町内に対して愛着」と強く結びついていました。
- ・ そして寄合の頻度は、住民同士の信頼や町内への愛着を育み、それが幸福度や生活満足度につながっている構造が見えてきました。寄合は「つながりの土台」としての役割を担っている可能性があることがわかりました。

1. 大野市の幸福度・生活満足度・町内の幸福度

「幸福度」「生活満足度」「町内の幸福度」の3つを0～10点で聞きました（回答者全体：314名）。参考として「5年後の幸福度」を右端に掲載しています。

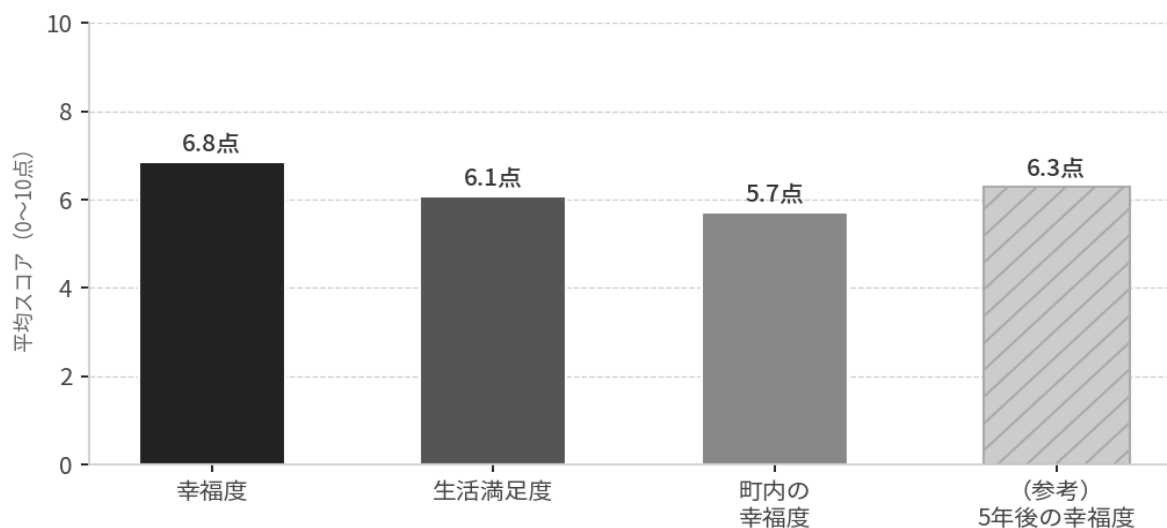


図1：全体の平均スコア（0＝とても不幸・不満、10＝とても幸せ・満足）

概要：

平均は、幸福度 6.8 点（参考：県全体 6.6 点）、生活満足度 6.1 点（県全体 6.6 点）、町内の幸福度 5.7 点（県全体 6.4 点）です。

5 年後の幸福度は 6.3 点で、（現在の）幸福度 6.8 点より僅かに下がっています。

2. 町内の寄合の頻度と幸福度等の関係

「町内で寄合など各世帯の人が集まる機会はどれくらいありますか？」への回答別に、「幸福度」「生活満足度」「町内の幸福度」を比べました。

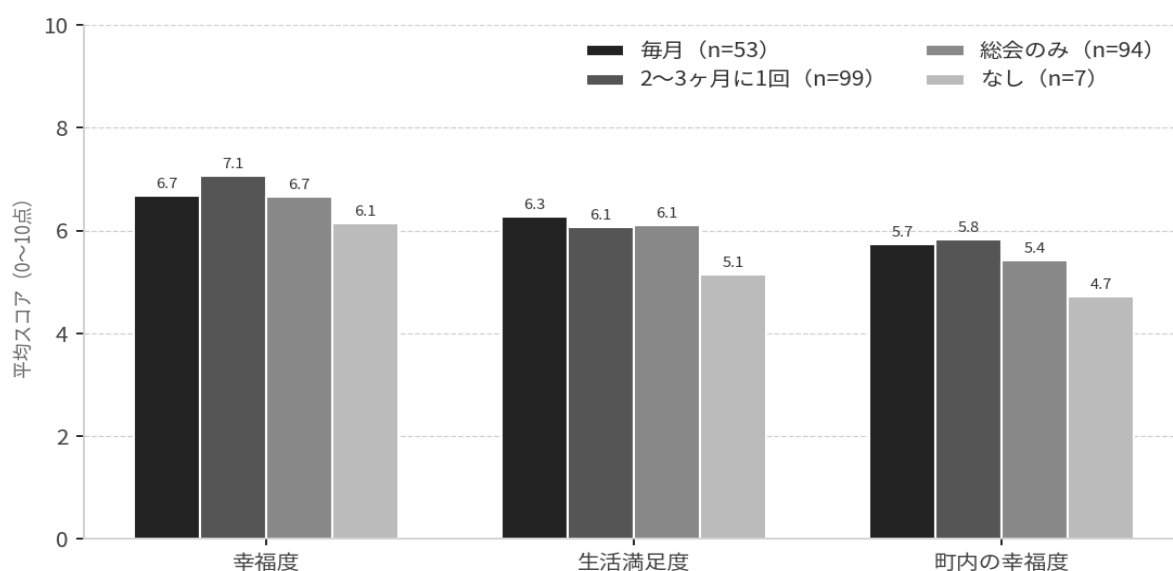


図2：寄合の頻度別 幸福度・満足度の平均スコア（3指標）

表1：寄合の頻度別 各スコアの平均（0～10点）

寄合の頻度	幸福度	生活満足度	町内の幸福度	（参考） 5年後の幸福度
毎月（n=53）	6.7	6.3	5.7	6.0
2～3ヶ月に1回 （n=99）	7.1	6.1	5.8	6.6
総会のみ（n=94）	6.7	6.1	5.4	5.9
なし（n=7）	6.1	5.1	4.7	6.7
相関係数	0.041	0.038	0.109	0.033
p値	p=0.514	p=0.543	p=0.084	p=0.606

※ 相関係数は-1～+1。0.3以上で「中程度の関連あり」。p値は、p<0.05で統計的に有意な差あり。

結果：寄合の頻度と幸福度等の間に、統計的に明確な関係は見られませんでした。

寄合の頻度を増やすほど幸せになる、という単純な比例関係ではありませんでした

（幸福度：相関係数 0.041／ $p=0.514$ 、生活満足度：相関係数 0.038／ $p=0.543$ ）。

ただし「寄合がまったくない」グループ（7名）はスコアがやや低い傾向があります。

3. 町内のイベントの有無と幸福度等の関係

「町内で祭り・BBQ・防災訓練（社会奉仕を除く）など誰でも参加できるイベントが行われていますか？」という設問でも同様に、「幸福度」「生活満足度」「町内の幸福度」を比べました。

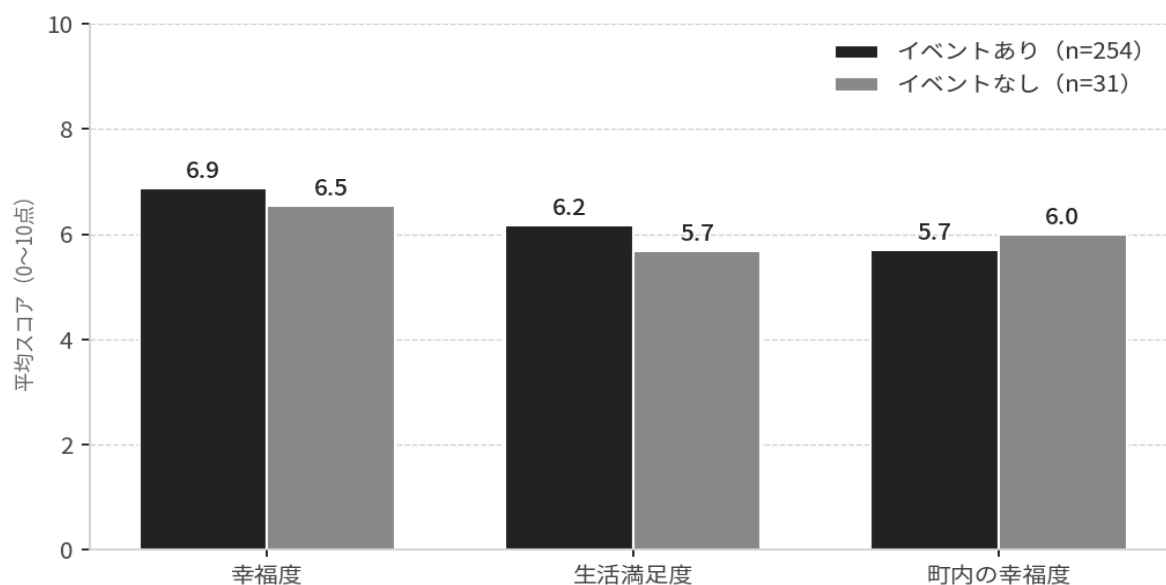


図3：地域イベントの有無別 幸福度・満足度の平均スコア（3指標）

表2：地域イベントの有無別 各スコアの平均と検定結果（0～10点）

イベント有無	幸福度	生活満足度	町内の幸福度	（参考） 5年後の幸福度
イベントあり (n=254)	6.9	6.2	5.7	6.3
イベントなし (n=31)	6.6	5.7	6.0	6.2
p 値	p=0.334	p=0.236	p=0.181	p=0.943

※ p 値は、 $p < 0.05$ で統計的に有意な差あり。

結果：地域イベントの有無と幸福度等に、統計的な差は見られませんでした。

すべての指標で p 値が 0.05 を大きく上回っており、イベントがあるかどうかだけでは幸福度や生活満足度の違いを判断することはできませんでした。

イベントなど非日常の「機会」より日常的な「つながりの質」が、幸福度や生活満足度に関係している可能性があります。

4. 幸福度等と関係が強い因子：「地域のつながり感」

「地域のつながり感」を問う5つの設問と幸福度等の関係を調べました。これらは「そう思う（高いほど肯定的）」という意識を1～5点で答えてもらったものです。

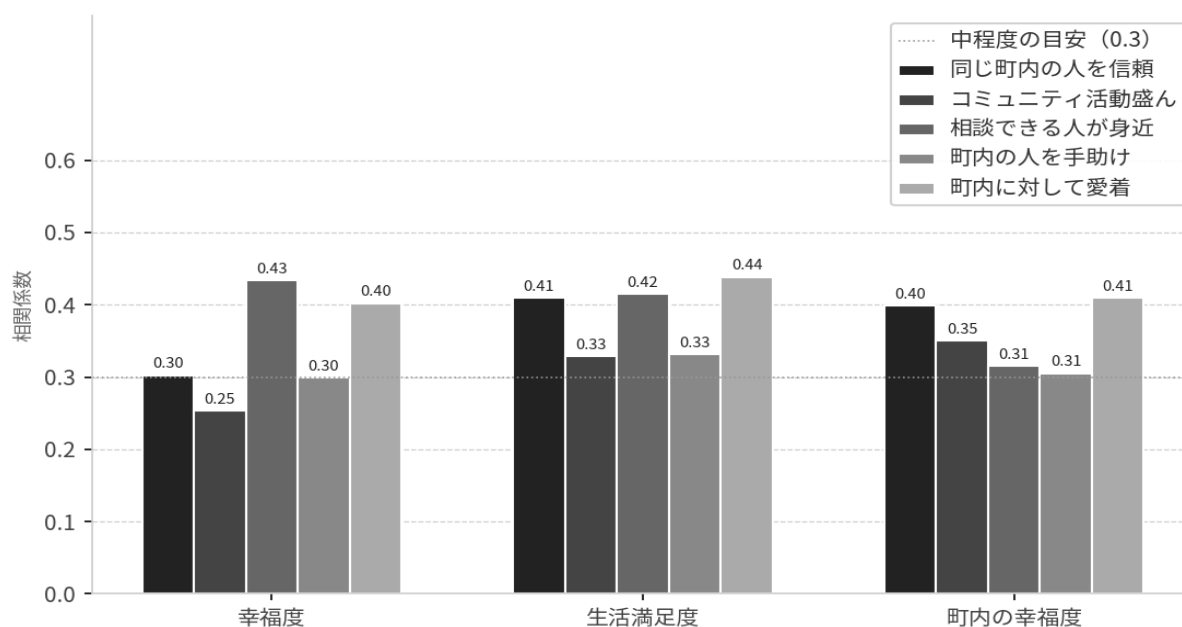


図4：地域のつながり感5項目と幸福度等の相関係数（幸福度・生活満足度・町内の幸福度の3指標）

表3：地域のつながり感5項目と各幸福度指標の相関係数

設問	幸福度	生活満足度	町内の幸福度	(参考) 5年後の幸福度
同じ町内の人を信頼	0.30 p=0.000	0.41 p=0.000	0.40 p=0.000	0.27 p=0.000
コミュニティ活動盛ん	0.25 p=0.000	0.33 p=0.000	0.35 p=0.000	0.24 p=0.000
相談できる人が身近	0.43 p=0.000	0.42 p=0.000	0.32 p=0.000	0.38 p=0.000
町内の人を手助け	0.30 p=0.000	0.33 p=0.000	0.31 p=0.000	0.31 p=0.000
町内に対して愛着	0.40 p=0.000	0.44 p=0.000	0.41 p=0.000	0.34 p=0.000

※ 相関係数は-1～+1。0.3以上で「中程度の関連あり」。p=0.000は小数点第4位まで0で、統計的に極めて信頼性が高いことを示します。

結果：5項目すべてで強い関連が確認されました（すべて $p=0.000$ ）。

「相談できる人が身近」は、幸福度との相関が最も強く（相関係数 0.43）、生活満足度との相関も強いです（相関係数 0.42）。頼れる人が身近にいることが幸福実感や暮らしの満足度に大きく影響しています。

「町内に対して愛着」は、生活満足度との相関が最も強いです（相関係数 0.44）。町内を好きな気持ちが暮らしの満足度を高めているのか、暮らしの満足度が町内を好きにさせているのかはわかりませんが、ともに高めていくことが重要と言えます。

5. 寄合の頻度と地域のつながり感の関係

「寄合の頻度は幸福度等と直接の関係がない」という結果でしたが、次に、寄合と地域のつながり感との関係を比べてみました。

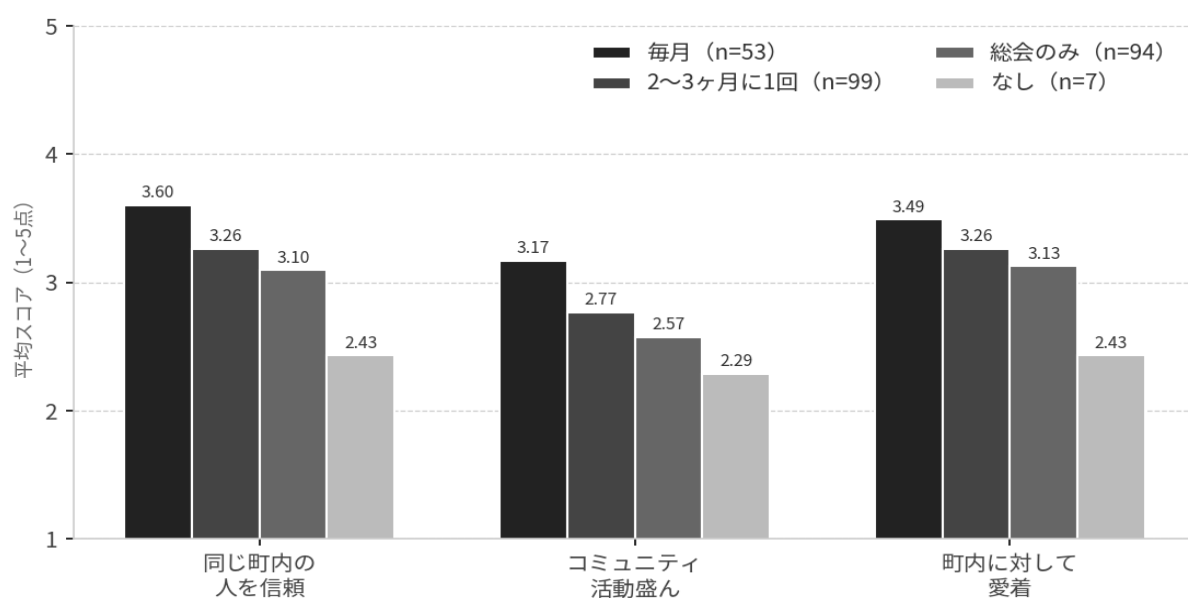


図5：寄合の頻度別 地域のつながり感3項目の平均スコア（1～5点）

表4：寄合の頻度別 地域のつながり感3項目の平均スコアと相関係数

寄合の頻度	同じ町内の人を信頼	コミュニティ活動盛ん	町内に対して愛着
毎月（n=53）	3.60	3.17	3.49
2～3ヶ月に1回（n=99）	3.26	2.77	3.26
総会のみ（n=94）	3.10	2.57	3.13
なし（n=7）	2.43	2.29	2.43
相関係数	0.206	0.230	0.149
p値	p=0.001	p=0.000	p=0.018

※ スコアは1～5点（1=全くそう思わない、5=非常にそう思う）。

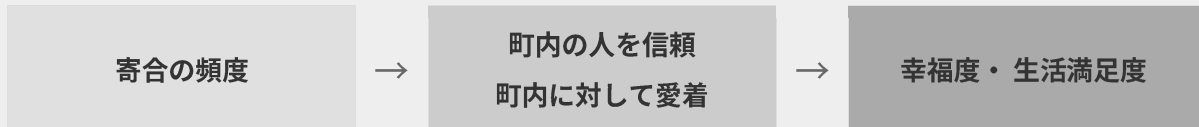
結果：寄合の頻度と地域のつながり感に関係が確認されました。

寄合の頻度と同じ町内の人を信頼、コミュニティ活動盛ん、町内に対して愛着の間には、関係があります（p 値から統計的に偶然とは言えない）。

ただし、その関係は弱いことから（相関係数 0.2 程度）、「寄合の頻度を増やせば信頼等が高まる」とは言い切ることができません。

6. まとめ

3つの関係をつなぐと、このような構造が見えてきました。



弱い関係ながらも寄合の頻度が、住民同士の信頼や町内への愛着を育み、それが幸福度や生活満足度につながっている構造が見えてきました。寄合は「つながりの土台」としての役割を担っている可能性があります。

「集まること」より「つながりの質」が大切

寄合の頻度やイベントの有無そのものは幸福度や生活満足度と直接の関係がありませんでした。それより、困ったとき相談できる人が身近にいるか、住民を信頼できるか、この地域が好きかという、つながりの質や深さの方が幸福実感と強く結びついています。

地域づくりへの示唆

- ・ 集まる回数を目標にするより、集まったときのコミュニケーションの質（話しやすい雰囲気や交流）を大切にする。
- ・ 「困ったとき誰かに頼れる」という安心感を地域の中に育てることが、幸福度・生活満足度向上のカギになる。
- ・ 地域への愛着を育てる取り組み（地域の歴史・魅力の共有など）が、生活満足度向上の観点から有効となる可能性がある。

付録：数字の読み方について

表 5：本レポートで使用した統計用語の説明

用語	意味
相関係数	2つの項目の関連の強さを-1～+1で示す数値。+1に近いほど「一方が高いともう一方も高い」関連が強い。0.3以上で中程度の関連とされます。
p 値	「この結果が偶然起きる確率」。p=0.000は小数点第4位まで0で、偶然ではない可能性が極めて高いことを意味します。一般的にp<0.05で「統計的に有意」と判断します。
注意点	この調査は「関連がある」ことを示すものです。「AがBを引き起こす」という因果関係を直接証明するものではありません。

大野市公共施設等総合管理計画（公共施設再編計画編）の進捗状況

区 分	令和4年3月	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和8年3月
	施設数	取組内容	増減	取組内容	増減	取組内容	増減	取組内容	増減	施設数
レクリエーション施設	66	・ 下小池公衆トイレ解体	△1			・ 国民休養地（パークホテル九頭竜ほか）譲渡 ・ 九頭竜スキー場（ヒュッテほか）譲渡 ・ まちなか交流センター（屋内型こどもの遊び場）用途変更	△1	[計画改訂に伴う区分変更等]	[△9]	55
産業振興施設	9	・ 上庄堆肥センター解体	△1			・ まちなか交流センター（屋内型こどもの遊び場）用途変更	△1	[計画改訂に伴う区分変更等]	[△2]	5
観光施設	17							[計画改訂に伴う区分変更等]	[2]	19
基盤施設	80					・ 旧乾側小学校校舎解体 ・ 木本集落センター解体 ・ 旧ぶなの木台コミュニティセンター売却	△3	・ 旧大納ハイッ解体 [計画改訂に伴う区分変更等]	△1 [△6]	70
文教施設	41					・ 笛資料館解体	△1	[計画改訂に伴う区分変更等]	[△4]	36
スポーツ施設	15	・ 真名川憩いの島上流側トイレ新設	1					[計画改訂に伴う区分変更等]	[△3]	13
福祉施設	16							[計画改訂に伴う区分変更等]	[△2]	14
公用施設	50	・ 防災用格納庫新設	1			・ 5分団2部ポンプ置場更新	-	・ 和泉診療所旧医師住宅（歯科）売却 ・ 6分団2部ポンプ置場更新 [計画改訂に伴う区分変更等]	△1 - [1]	51
その他の施設	2							[計画改訂に伴う区分変更等]	[△2]	0
普通財産等	7			・ 旧和泉体験農園堆肥舎解体 ・ 旧奥越農業共済事務所解体	△2	・ 旧乾側幼稚園解体	△1	[計画改訂に伴う区分変更等]	[22]	26
施設数合計	303	施設数増減 0		施設数増減 △2		施設数増減 △7		施設数増減 △5		289

延床面積合計（㎡）	228,372.51
-----------	------------



199,166.59

推進会議の趣旨とスケジュール

■所掌事務

第 2 条 推進会議の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 総合計画及び総合戦略に基づく施策の実施状況及び効果の検証に関すること。
- (2) 総合戦略の策定及び改訂に関すること。
- (3) 総合計画及び総合戦略の推進並びに行政改革に係る諸課題について、必要な意見又は提言を行うこと。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

(大野市総合計画・総合戦略推進会議設置要綱 抜粋)

■令和 8 年度会議スケジュール

	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月
推進会議	第 1 回 6/26金		第 2 回 8/6木 午前9時			第 3 回 未定
専門部会			第 1 回 8/6木 午前10時頃	市民意識調査	第 2 回 未定	

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「こども」分野		
担当団体		大野市立保育園保護者連合会、大野市PTA連合会、 みらい子育てネット大野
1	子育て	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		
2	学び	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「健幸福祉」分野		
担当団体		大野市老人クラブ連合会、(社福)大野市社会福祉協議会、大野市スポーツ協会
3	健康・医療	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
4	地域福祉	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
5	スポーツ	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「地域経済」分野		
担当団体		福井県農業協同組合、九頭竜森林組合、大野商工会議所、（一財）越前おおの観光ビューロー、連合福井福井地域協議会大野地区連絡会、（一社）福井県中小企業診断士協会、福井県社会保険労務士会
6	農業	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
7	林業	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
8	商工業	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
9	観光業	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
10	働く環境	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「くらし環境」分野		
担当団体		福井工業大学、(一社)大野建設業会、大野市消防団
11	自然環境・ごみ	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
12	水環境	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
13	生活環境	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
14	消防・減災	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
15	道路	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		
16	公共交通	(評価付け) A ・ B ・ C ・ D
(意見) ・ ・ ・		

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「地域づくり」分野		
担当団体		大野市文化協会、大野市区長連合会、奥越前まんまるサイト
17	ひと・地域	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
18	防災力・防犯力	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
19	文化芸術	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		
20	移住定住	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見） ・ ・ ・		

外部評価シート（大野市総合計画に基づく令和7年度施策）

委員氏名		
「行政経営」分野		
担当団体		大野市議会、越前信用金庫、大野記者クラブ
21	情報共有	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		
22	協働・連携	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		
23	市民サービス	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		
24	行財政	（評価付け） A ・ B ・ C ・ D
（意見）		